

7 指導計画（全14時間）

5年「ニュース番組作りの現場から・工夫して発信しよう・編集して伝える」		時間	過程	時間	6年「平和のとりでを築く・自分の考えを発信しよう・インターネットと学習」	
学習活動	指導上の留意点				学習活動	指導上の留意点
1 全文を読み、学習の見通しをもつ。 感想を書き、交流する。	・初めて知ったことや興味をもったことについて書くことを知らせてから範読する。 ・説明文の学習の後、実際に情報を発信する活動をするを知らせ、意欲付けを図る。	1	つかむ・見通す	1	1 学習に対する意欲をもつ。 戦争について知っていることや思っていることを出し合う。	・「戦争」や「平和」について、知っていることを交流させることで、戦争や平和についての興味・関心を高める。 ・教科書の単元構成から、本単元が、説明文の読み-情報収集-自分の考えの発信という構成になっていることをとらえさせる。
2 学習のめあて、学習計画を立てる。					2 学習のめあて・学習計画を話し合い、見通しをもつ。	
2 ニュース番組の「特集」ができるまでの様子を読む。 (1)書かれている内容を表に整理しながら読む。	・教材文の全体構成が理解できるようにする。 ・ワークシートなどを活用し、表の形式を示し、いっしょに初めの内容を整理しながら、教材文への着目のしかたを指導する。	2	調べる	1	2 「平和のとりでを築く」を読み、筆者の伝えたいことを考える。 (1)題名と第1段落から、読みの課題について話し合い、全文を読む。	・「原爆ドームは、ユネスコの世界遺産への仲間入りを果たすまでどのような年月をたどってきただろう」 ・『平和のとりでを築く』で、筆者は何を伝えたいのだろう
(2)番組作りの各過程で大事な点や気を付けることを読む。	・ワークシートを配布し、表にまとめる形で読んだことを整理させる。 ・大事な点書かれてある文章には、サイドラインを引かせる。	2	深める	1	(2)文章構成をとらえ、原爆ドームがたどった歴史を読み取る。	・なぜ原爆ドームが永久保存への道を進むようになったのか読み取らせる。 ・指示語が何を指し示しているのか正確にとらえさせる。
(3)「ニュース番組作りの現場から」の構成や要旨を読み取る	・教材文最後の段落に着目させ、要旨をしっかりとらえさせる。 ・番組作りの努力や願いについても話し合う。	1		1	(3)原爆ドームが世界遺産に認められるまでの道のりを読み取る。	・一少女の日記から始まった原爆ドームの世界遺産への道のりをとらえさせ、意見交流を行う。
(4)目的意識・相手意識をもって、企画書を書く。(本時)	・教材文の要旨をもとに、だれに、どんな目的で特集を報道するのが明らかになるように企画させる。 ・教科書をもとにして、情報発信までの手順を押さえる。	1		2	(4)「平和のとりでを築く」で筆者は何を伝えたいかを考える。	・国連のユネスコ憲章などから筆者の伝えたいことを読み取らせる。
3 情報を発信する。 (1)グループごとに企画会議を開き、これからの計画を立てる。 (2)計画をもとに、取材を行う。	・前に書いた企画書をもとにグループを編成し、企画会議を行う。	7	たしかめる	7	(5)「平和のとりでを築く」に対する自分の考えをまとめる。(本時)	・「平和をおびやかすもの(気持ち)」について話し合い、おびやかすものから「平和の心」を守るため、どのような心(意志)をもつか各自考えさせる。 ・社会科の学習や平和に関する学習とつなぐなどしながら、問題意識を高める。
(3)取材したことを編集し、発信の準備をする。 (4)情報を発信する。	・教師が受信側となり、問題点や改良点をグループごとに指摘する。 ・発信の意図や工夫点を明らかにして、グループ発表させる。		まとめる		3 平和について自分の考えを発信する。 (1)平和について話し合い、発信する課題、相手、方法を決め、調べることを具体化する。 (2)「仮の要旨」をまとめ、材料を集める。 (3)「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。 (4)自分の考えを書きまとめ、推敲し、発信する。	・課題を具体的にするように助言し、一人一人が意欲的に情報を集め、考えをまとめていけるようにする。 ・必要に応じて「インターネットと学習」を読み、インターネットを効果的に活用させる。 ・書き出しや文末表現にも気を付けさせる。友達どうして交流して、助言し合えるようにする。
4 活動を振り返り、単元の学習をまとめる。	・振り返りカードを配布し、単元全体の学習について自己評価させる。				4 単元の学習をまとめる。	

8 本時(7/12)

(1) 目標(5年)

目的意識・相手意識をもって、「わたしの特集」の企画書を書くことができる。

(2) 本時の展開に当たって

リーダーを中心として、今までの学習をもとに、企画書を書くとき、何に気を付けていけばよいか話し合わせる。

企画書を書くときは、自分勝手な内容にならないように、気を付けさせる。

書いた企画書については、お互いに交流し、お互いの考えのよさを認めあえる場を設定する。

(1) 目標(6年)

「平和のとりで」に対する自分の考えをもち、友だちに発表することを通して、自分の考えを明らかにし書きまとめることができる。

(2) 本時の展開に当たって

自分の意見を自由に述べたり、友だちの考えを認める学級の雰囲気づくりに努める。

リーダーを中心として、活発な話し合いの場をもつ。

書きまとめる活動では、観点を明らかにして、自分の考えを自由に書かせる。

具体的な教師の支援()と評価()	主な学習活動	過程	教師の位置	過程	主な学習活動	具体的な教師の支援()と評価()
<p>前時までの学習を振り返り、番組作りの各過程の内容をおさえた上で、本時の学習に対する意欲づけを図る。</p> <p>本時の学習の流れを説明し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>今までの学習を想起させ、企画書には何を書いていけばよいか考えさせる。</p> <p>・伝えたいこと(話題) ・目的 ・相手 ・伝える方法 ・取材計画</p> <p>話題を見つけるときには、多くの人が関心をよぶようにさせる。</p> <p>なぜこの話題を選んだのかなど目的意識や相手意識を明確にして企画書を書かせる。</p> <p>お互いの企画書を発表し、多様な話題があることを理解させる。</p> <p>本時の学習を通して、企画書の書き方が分かったなど、達成感や成就感を味わわせる。</p> <p>企画書をもとにして、グループごとに企画会議を行うことを告げる。</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。 「特集」番組作りのための企画書を書こう。</p> <p>2 学習の方法を確かめる。</p> <p>3 企画書を書くときに必要なこと(事柄)を考える。 【1人学び】</p> <p>4 考えたことをもとに、話し合う。(全体で)</p> <p>5 「わたしの特集」の企画書を書く。</p> <p>6 企画書を発表し、お互いの企画について交流する。 【ペアで】</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習について話し合う。</p>	<p>つかむ</p> <p>見通す</p> <p>調べる</p> <p>深める</p> <p>またとしめる</p> <p>いかす</p>		<p>つかむ</p> <p>見通す</p> <p>調べる</p> <p>深める</p> <p>またとしめる</p> <p>いかす</p>	<p>1 前時を振り返る。 (1) P 37~P 38を音読。 (2) 「平和のとりでを築く」で、筆者の伝えたかったことは何だったか。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。 「平和のとりで」について自分の考えをまとめよう。</p> <p>3 学習方法を確かめる。</p> <p>4 「平和」や「平和をおびやかすもの(気持ち)は何か。」について考え、話し合う。 (1) 「平和」とは何か。それをおびやかすもの(気持ち)は何かを考える。 (2) 考えたことをもとに、全体で話し合う。【全体】</p> <p>5 「私の心の中の平和のとりで」という題名で、自分の考えを書きまとめる</p> <p>6 自分の考えを発表し、平和への思いを深める。【ペアで】</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習について話し合う。</p>	<p>前時までの学習を振り返り、筆者の伝えたかったことをおさえた上で、本時の学習に対する意欲づけを図る。</p> <p>本時の学習の流れを説明し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>全体での話し合いでは、自分が考えたことをもとに、リーダーを中心として活発な意見交換を行う。 友達の意見を聞いて、いいと思ったことはメモをとる。</p> <p>・まとめる観点として2つを挙げる。 平和とはどういうことか。「平和のとりで」としてどのような意志をもつか。</p>